JOB No. 34

6艇のボートで速さを競い、順位を争い、ボートの調整も自分で行います

ボートレーサー

▶▶ 職場ではこんな人も働いています

● 整備士 ● 審判員 ● 検査員 ● 実況アナウンサー ● 施設管理
● 発売 ● イベント企画 ● 広報 ● 警備

この仕事のキーワード

- □ ボート
- □ レーサー
- □ アスリート
- □ 自己管理
- □ 集中力
- □ 地元への思い

こんな人に向いています

- □ 負けずぎらいな人
- □ 向上心がある人
- □ 地道な努力ができる人
- □ 自己管理能力のある人
- □ 礼儀を大切にできる人



水の上で競い、ボートを仕上げ、ふるさとに熱を届ける

ボートレーサーは、6人の選手が水の上で順位を競う仕事です。選手はレースに出場するだけでなく、少しでも良い結果につながるように、ボートやモーターの調整も自分の手で行います。体力づくりや体調の管理、練習も欠かせません。レースで勝てた時や、自分の成長を感じられた時に大きなやりがいがあります。結果が出ない時期を乗りこえて勝てた時は、大きな自信になりました。ファンの方からいただく応援の言葉もがんばる力になっています。

CHECK

私がこの仕事に就いたきっかけ

ボートレース徳山でペアボートに乗せてもらえるイベントがあり、初めてボートに乗ったことがきっかけです。その時に感じたスピード感と勝負の世界に魅力を感じました。「自分もボートレーサーになりたい」と強くあこがれ、この道を目指しました。

プロデビュー 6 年目
寺田 空詩選手



ボートレーサーの仕事内容

ボートとモーターを調整する

レース場で借りたモーターを自分に合うように仕上げます。部品を組みかえたり、プロペラを整えたりします。同じモーターでも調整しだいで走りは大きく変わります。



水面に出て確認する

調整したモーターやボートが思ったとおりに動くかを実際に水面で確かめます。風や波の様子は日々ちがうので、レース期間中は毎日乗って確認します。



レースに出場する

6人の選手で順位を競います。わずかな差で勝負が決まることもあり、一瞬の判断がすべてです。お客様に楽しさや感動を届けることも大事な役目です。



体をつくり、整える

レース期間外も練習やトレーニングを続けます。食事にも気をつけて体重を保ち、最後まで集中力が続く体をつくります。体調の管理も大切な仕事です。



CHECK

必要な資格・スキル

- ボートレーサー養成所に入所し、1年間の訓練が必要です。卒業後、国家試験に合格すると選手になれます。
- 入所試験には身長・体重・視力の基準があります。
- 体力試験と、判断力をみる適性試験、学科試験や人物試験もあります。



ボートレースは、社会貢献スポーツです

ボートレース徳山（周南市ボートレース事業局）

周南市大字栗屋1033　TEL／0834-25-0540
設立／1953年8月　従業員数／72名

ボートレース下関（下関市ボートレース企業局）

下関市長府松小田東町1-1　TEL／083-246-1161
設立／1954年10月　従業員数／57名





BOAT RACE 徳山　BOAT RACE 下関

徳山HP　下関HP

ボートレース徳山・下関ではこんな仕事をしています



レースの開催

1年間のレースの予定を組み、どの選手がどのレースに出るかを決めます。舟券を売り、水面やスタンドの点検もします。すべての選手に公平で安全なレースになるように支えています。



イベント企画

レース場に来てもらうためのイベントを考えます。ポスターやSNSでの発信、グッズの製作もしています。終わったあとは内容をふり返り、次に活かしています。



来場の呼びかけ・イメージアップ

もっと多くの人に来場して楽しんでもらう企画を考えます。イベントへの参加や、学校訪問もします。ボートレースが街の役に立っていることや選手になる方法を伝えています。



BOAT KIDS PARK モーヴィ下関

6か月～12歳の子供たちが、思いっきり体を動かして遊べる屋内外の遊び場です。レース場を訪れた親子が楽しめる場所として、2019年4月にオープンしました。

ボートレースで生まれたお金が、私たちの街やだれかのために使われています

ボートレースは、市が行っている公営競技です。安全で公平なレースを開き、そこで生まれたお金を街にもどすことが大きな役割です。レースで得た収益の一部は、子育てのしくみづくりや学校の工事、動物園の整備、福祉や街の緑を守る活動などに使われています。また、日本財団にもわたり、災害で困った人を助ける活動などに使われます。



